

2004年10月29日(金)・30日(土)

デジタル・アーキビスト関連の東京での打合せの報告

日付：2004年10月29日(金)

時間：13:30～

場所：岐阜県東京事務所

出席者：デジタル・アーカイブ推進協議会 笠羽晴夫事務局長，岐阜県新産業労働局
林文雄氏，岐阜女子大学副学長 後藤忠彦

議題：デジタル・アーキビスト養成について

本年度中に，第1回成果発表会を実施し，そこでの講演会などの開催に対し，協議会として支援する。

日付：2004年10月29日(金)

時間：15:00～

場所：松下教育研究財団

出席者：学情研 岡行輔常務理事，澤井進氏，(株)情報設計代表取締役野沢俊雄氏，常盤大学 坂井知志教授(元文部科学省学習情報課教育メディア調査官)，岐阜女子大学副学長 後藤忠彦，谷口知司教授，岐阜県新産業労働局 林文雄氏，岐阜県総合教育センター 横山隆光氏

議題：デジタル・アーキビスト養成について(関連協会，研究者などとの学習成果の評価についての打合せ)

岐阜女子大学デジタル・アーキビスト養成について説明

今後のスケジュールの計画

・11月中(調整)に打合せをする。坂井先生，井上氏，横山氏，林氏 ほかで岐阜で話し合う。

学習成果の試行テストなど

・第1回を1月～2月，第2回を3月までに実施する。対象は，岐阜女子大学の学生(4年生，3年生)。

問題点：(a) デジタル・アーキビストについての達成目標の設定について

学習内容・行動の構造化を進め，達成目標を急いで作る必要がある。

(b) デジタル・アーキビストについての講習会などの開催について

達成目標に対して，問題となる項目についての講習会などの開催が必要。

(c) 大学外での講習会(研修会の準備が必要)について

大学としてスケジュールを作り，対応する。

高校生の資格取得者に対する大学の対応について

- ・高校生のデジタル・アーキビスト関連授業の学習者に対し，各大学で，受講科目の免除・入学受け入れなどができるように考える。

カリキュラム・教材などの流通の提供について

- ・岐阜県などで作るカリキュラム・教材などが，他の大学・高校・研修などで利用できるように流通及び提供（講習会なども含め）方法を検討する。

講義者（指導者）・教材について

- ・実務的に対処できる人を選び，講義・指導を依頼する。

教育方法（遠隔授業，e-learning などの利用）

- ・全国的な受講者・受講生に対する教材・講義などの提供について今後検討する。

日 付：2004年10月30日（土）

時 間：14：00～

場 所：松下教育研究財団

出席者：日本教育情報学会運営委員，岐阜女子大学副学長 後藤忠彦

議 題：学会関係者との打合せ

デジタル・アーキビスト養成と学会の関係について次の話し合いをもった。

メタデータの検討

用語の体系化

著作権，プライバシーなどの提案